

日本酪農協同株式会社「徳島工場」について

1 概要

新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等に伴う「巣ごもり需要」の増加により、家庭用の牛乳・乳製品の需要は増加傾向にあります。

一方、乳飲料等の原料となる輸入脱脂粉乳は、新型コロナウイルス感染症拡大によるコンテナ輸送の遅延により輸入に不安が生じていることから、県唯一の乳業工場である日本酪農業協同株式会社の徳島工場では、新たな需要への対応・安定供給を図るため、徳島県産牛乳や国産脱脂粉乳等に原料を置き換えた新たな乳飲料等の製造・販売強化に取り組むことになりました。

取り組むにあたっては、国の「国産農畜産物供給力強靱化対策」及び「とくしまの酪農・乳業生産基盤強化事業（新型コロナウイルスの感染症対応地方創生臨時交付金制度）」を活用し、実施いたしました。主な整備内容は次のとおりです。

2 事業主体

日本酪農協同株式会社（大阪府和泉市小田町一丁目8番1号）

※日本酪農協同株式会社は、「県」「徳島県酪農業協同組合」との三者で締結した「包括連携協定」に基づき、本県酪農業の振興に取り組んでいます

3 整備内容

- ・ 建屋（3,025㎡）
- ・ 牛乳乳飲料製造施設
 - （エネルギー施設）
 - （前工程機械）
 - （充填工程機械）
 - （排水処理設備）
 - （トラックスケール等）

4 総事業費

- ・ 事業費：2,326,141,400円
- ・ 交付金：573,587,000円（国産農畜産物供給力強靱化対策）
- ・ 県費：262,356,000円（とくしまの酪農・乳業生産基盤強化事業（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（交付金の1/2以内））
- ・ その他：1,490,198,400円（事業者負担）

5 今後の展開

脱脂粉乳を不安定な輸入から国産へ置き換え、乳飲料等の安定供給はもとより、新たな乳飲料等の製造・販売強化を図っていきます。